

不活化ポリオ

H24 年9月から、生ポリオワクチンに代えて、不活化ポリオワクチンが導入されました。

※すでに生ポリオを2回もしくは四種混合（DPT-IPV）を4回接種されている方は、単独の不活化ポリオワクチンの接種は不要です。

生ポリオワクチンが1回のみの方は、不活化ポリオワクチンもしくは四種混合ワクチンにて残り3回の接種が必要です。

接種回数がわからない場合は、健康課までお問い合わせ下さい。

不活化ポリオワクチン

☆不活化ワクチンです。

対象年齢 生後2か月～7歳6か月の前日まで

接種回数 初回3回＋追加1回の計4回

接種間隔 20日以上、標準的に20日～56日の間隔をあけて初回3回接種後、6か月以上（標準として1年～1年半）の間隔をあけて1回（万一間隔があいてしまった場合は、接種医にご相談ください。）

ポリオとは？

手や足の麻痺があらわれる感染症です。口の中から入ったポリオウイルスが腸の中で増え、便の中に排出されて他の人に感染していきます。感染者の大部分は無症状ですが、感染者の1,000～2,000人に1人に麻痺があらわれます。一部の人には、その麻痺は一生残ります。

副反応

初回接種（3回）後に接種部位の紅斑、はれ、痛み、発熱、眠気、易刺激性が主な副反応です。重い副反応はなくても、機嫌が悪くなったり、はれが目立つときなどは医師にご相談ください。